






オフィスビル

5つの基本アクションをお願いします		実行 チェック
照明 	執務エリアの照明を半分程度間引きする。	
	使用していないエリア(会議室、廊下等)は消灯を徹底する。	
空調 	テナントは空調のスイッチを切り、オーナーはビル全体が適切な温度になるように調整を行う等、適切な温度管理を行う。	
	使用していないエリアは空調を停止する。	
OA機器	長時間席を離れるときは、OA機器の電源を切るか、スタンバイモードにする。	

さらに節電効果が大きい以下のアクションも検討してください		実行 チェック
空調 	室内のCO ₂ 濃度の基準範囲内で、換気ファンの一定時間の停止、または間欠運転によって外気取入れ量を調整する(外気導入による負荷を減らすため)。	
	夕方以降はブラインド、カーテンを閉め、暖気を逃がさないようにする。	
	熱源機(ガス熱源は除く)の温水出口の温度を低めに設定し、熱源機ヒートポンプ等の動力を削減する。	
	空調機器の一斉の起動を避ける。(運転時間前倒し、フロア毎の時間調整等)	

メンテナンスや日々の節電努力もお願いします		実行 チェック
照明 	昼休みなどは完全消灯を心掛ける。	
	従来型蛍光灯を、高効率蛍光灯やLED照明に交換する。(従来型蛍光灯からHf蛍光灯又は直管形LED照明に交換した場合、約40%消費電力削減。)	
空調 	フィルターを定期的に清掃する(2週間に一度程度が目安)。	
	電気室、サーバー室などで冷房を使っている場合には、可能な限り冷房を使わずに外気を取り入れる。または、空調設定温度が低すぎないかを確認し、見直す。	
	電気以外の方式(ガス方式等)の空調熱源を保有している場合はそれらを優先運転する。	
	暖房と冷房の同時使用による室内混合損失を避ける。	

オフィスビル

メンテナンスや日々の節電努力もお願いします		実行 チェック
コンセント・動力	ハロゲンヒーター等の暖房機器を個人で使用しない。	
	温水洗浄便座は保温・温水の温度設定を下げ、不使用時はふたを閉める。	
	エアタオル等のプラグをコンセントから抜く。	
	自動販売機の管理者の協力の下、適切な温度設定等を行う。	
その他	デマンド監視装置を導入し、警報発生時に予め決めておいた節電対策を実施する。	
	コージェネレーション設備を所有している場合は、発電優先で運転する。	
従業員やテナントへの節電の啓発も大事です		実行 チェック
節電啓発	ビル全体の節電目標と具体的アクションについて、関係全部門・テナントへ理解と協力を求める。	
	節電担当者を決め、責任者(ビルオーナー・部門長)と関係全部門・テナントが出席したフォローアップ会議や節電パトロールを実施する。	
	従業員やテナントに対して、家庭での節電の必要性・方法について情報提供を行う。	

- ※ご注意
- ・記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。
 - ・空調については電気式空調を想定しています。
 - ・一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
 - ・方策により効果が重複するものがあるため、単純に合計はできません。
 - ・節電を意識しすぎるあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものにならないようご注意下さい。